

(様式－１)

年 月 日

宮崎県県土整備部長 殿

(申請者) 会社名
代表者名

アスファルトプラント承認願

アスファルト混合物を製造する機能を有したアスファルトプラント工場として下記のとおり必要図書を添えて提出しますので、御承認願います。

記

- 1 アスファルトプラント調査表
- 2 添付図書
 - (1) アスファルトプラント位置図 (S = 1 / 50,000 以上)
 - (2) アスファルトプラント全体平面図
 - (3) 全景写真
 - (4) 材料置場・試験室等の部分写真
 - (5) その他必要な図面、資料等

(様式-1) - 2

文書番号

年 月 日

殿

宮崎県県土整備部長

アスファルトプラント承認書

年 月 日付で提出されたアスファルトプラント承認願いについて、調査の結果、下記により承認する。

なお、条件及び指導事項については早急に改善されたい。

記

アスファルトプラント名	
所在地	

1 条件

2 指導事項

(様式－２)

年 月 日

宮崎県建設技術センター所長 殿

住 所
アスファルトプラント名
代 表 者 名

アスファルト混合物配合設計承認願ひ

当会社において製造される下記のアスファルト混合物の配合設計は、別添
(様式－５) のとおりでありますので御承認願ひます。

記

1 アスファルト混合物名

(様式-3)

アスファルト混合物配合報告書										
								年	月	日
殿 アスファルトプラント名 配合設計者名										
工 事 名 称										
位 置										
搬 入 予 定 時 期										
本配合の適用時期										
配 合 の 設 計 条 件										
標準、耐流動、 その他の区分	アスファルト 混合物の種類	突固め 回数	アスファルト量	最大粒径	アスファルトの 種類					
特筆事項								再生骨材配合率		
使用材料 (配合設計に用いた値)										
種別	製造会社名	軟 化 点	針 入 度	比 重						
新アスファルト										
再生アスファルト				再生加熱アスファルト混合物の圧裂係数 : MPa/mm						
アスファルト 再生骨材	供給元	最大密度	旧アスファルト含有量	旧アスファルト針入度	骨材の微粒分量					
再生用 添加剤	製造会社名	動 粘 度	引 火 点	密 度						
粗骨材	呼び名	産 地	表乾比重	見掛比重	吸水量	すりへり減量	安定性	石 質		
	号									
細骨材	呼び名	産 地	表乾比重	見掛比重	吸水量	安定性	そ の 他			
フィラー	産 地		比 重			そ の 他				
配 合 表										
アスファルト量	密 度	骨材合成粒度 (通過重量百分率)								
		26.5m/m	19	13.2	4.75	2.36	0.6	0.3	0.15	75μm
%	g/cm ³									
新 AS	%	理論密度	空隙率	飽和度	安定度	フロー値	動的安定度	透水係数		
旧 AS	%									
アスファルト混合物出荷温度計定期点検結果										
点検日			有効期限				判 定			
年 月 日			年 月 日							
<p>[注 1] 再生加熱アスファルト混合物の配合設計について、設計針入度への調整を行う方法では軟化点、針入度、比重を記入、設計圧裂係数への調整を行う方法では再生加熱アスファルト混合物の圧裂係数を記入する。</p> <p>[注 2] 再生骨材配合率を 10%以下とする場合は設計針入度の調整及び設計圧裂係数の調整を省略してもよい。</p> <p>[注 3] アスファルト混合物出荷温度計定期点検結果の記入は任意とする。有効期限はアスファルト混合物の搬入予定時期を満足するものとする。判定は、合格又は不合格のいずれかを記入する。</p>										

(様式－４)

年 月 日

土木事務所長 殿

受注者住所

氏 名

アスファルト混合物使用報告書

次の工事について下記のとおり使用するので報告します。

工事番号

工 事 名

路 線 名

箇 所

請負金額

記

1 使用するアスファルトプラント名

2 アスファルト混合物の種類

アスファルト混合物の種類	アスファルトの種類	アスファルト量	最大粒径	使用数量

3 添付図書

(1)アスファルト混合物配合設計承認の写し

(2)アスファルト混合物配合報告書（様式－３）

(3)アスファルト混合物配合設計書（様式－５）（各種試験成績表を添付）

(様式－5)

アスファルト混合物配合設計書

混合物種類

報告年月日

年

月

日

会社名

添付図書

各種試験成績表を添付

(別紙-1)

アスファルトプラント調査表

工事所在地

会社名 _____

工事名 _____

設置箇所 _____

工事責任者名 _____

人員構成 _____ (別紙に役職、氏名を入れ系統図を作成のこと)

アスファルトプラント

敷地面積 _____ m²

能力 _____ /バッチ kg /時間 t /H

設置年月日 _____

常設仮設の別 _____

アスファルトプラント製造会社名 _____

アスファルトプラントの製造年月日 _____

形式 _____

種類 _____ 全自動 半自動 手動

1 次のアスファルトプラント運転に関して公に認定されている常駐の技術者の氏名を記せ（免許の写し要）

公害防止管理者（種類も要） _____

危険物取扱責任者 _____

電気主任技術者 _____

（業務を委託している場合は会社名）

乾燥設備作業主任 _____

特殊運転免許者 _____

2 材料の品質、規格と貯蔵

各材料の成分、品質の試験表を提出すること。

(1) アスファルト

貯蔵方法 _____

加熱保温方法 _____

(2) 骨材

貯蔵方法 _____

雨覆の方法 _____

貯蔵量 _____ t _____ 基

(3) 石粉

貯蔵方法 _____

貯蔵量 _____ t _____ 基

(4) 燃料タンク

使用燃料の種類 _____

貯蔵方法 _____

貯蔵量 _____ t _____ 基

油漏対策 _____

(5) 使用材料の産地及び会社名を記せ

3 アスファルトプラントの機構及び設備

(1) 骨材供給設備

コールドビン数 _____ 基

コールドビンへの骨材供給方法 _____ 種類 _____ 台数

フィーダ型式、能力、制御方法 _____

骨材の吐出量の点検を行った成績表及びキャリブレーションを行った関係図を提出のこと。

(2) 骨材乾燥・加熱設備

骨材投入装置型式、能力 (t/hr) _____

バーナー型式、能力 (t/hr) _____

自動調整の有無 _____

(3) 集じん設備及び回収設備

集じん装置名 _____ 一次 _____ 二次 _____

回収ダストの処理方法 _____

回収ダストを合材に使用する場合の計量方法 _____

汚水処理方法 _____
沈殿槽の容積 _____

(4) ふるい分け設備 (スクリーン)

ふるい型式、能力 (t/hr) _____
オーバーサイズのフローパイプの有無 _____

(5) ホットビンおよび計量設備

ホットビン

No.	粒 度	容 積	ビン内残量検知有無	オーバーフローパイプ

加熱骨材採取口設置の有無 _____

計量器の型式 _____

計量器の精度 _____

材 料	最 大 目 盛	最 小 目 盛	計 量 方 法	落差補正の有無
骨 材				
石 粉				
アスファルト				

計量記録計の有無 _____

計量器の定期点検の検定書を提出のこと _____

(6) 混合設備

ミキサー製造会社 _____ 型式 _____ 能力 _____

ライナと羽根先端の間隔 _____
アスファルトスプレーパ
保温装置 有 ・ 無 アスファルト噴霧圧力 _____ kg/cm²

(7) 入荷・出荷方法

トラックスケールの定期点検の検定書を提出のこと。

4 運搬

最大運搬範囲	km	時間
運搬車（自家用）	t 車	台
（チャーター）	t 車	台

5 品質管理

(1) アスファルトプラントの各設備、材料及び混合物の定期試験は、アスファルト混合所便覧及び関係諸基準類に基づき定期的に毎回実施しているか。

①設備の点検	_____	回/年
②材料の基準試験	_____	回/年
③混合物の基準試験	_____	回/年

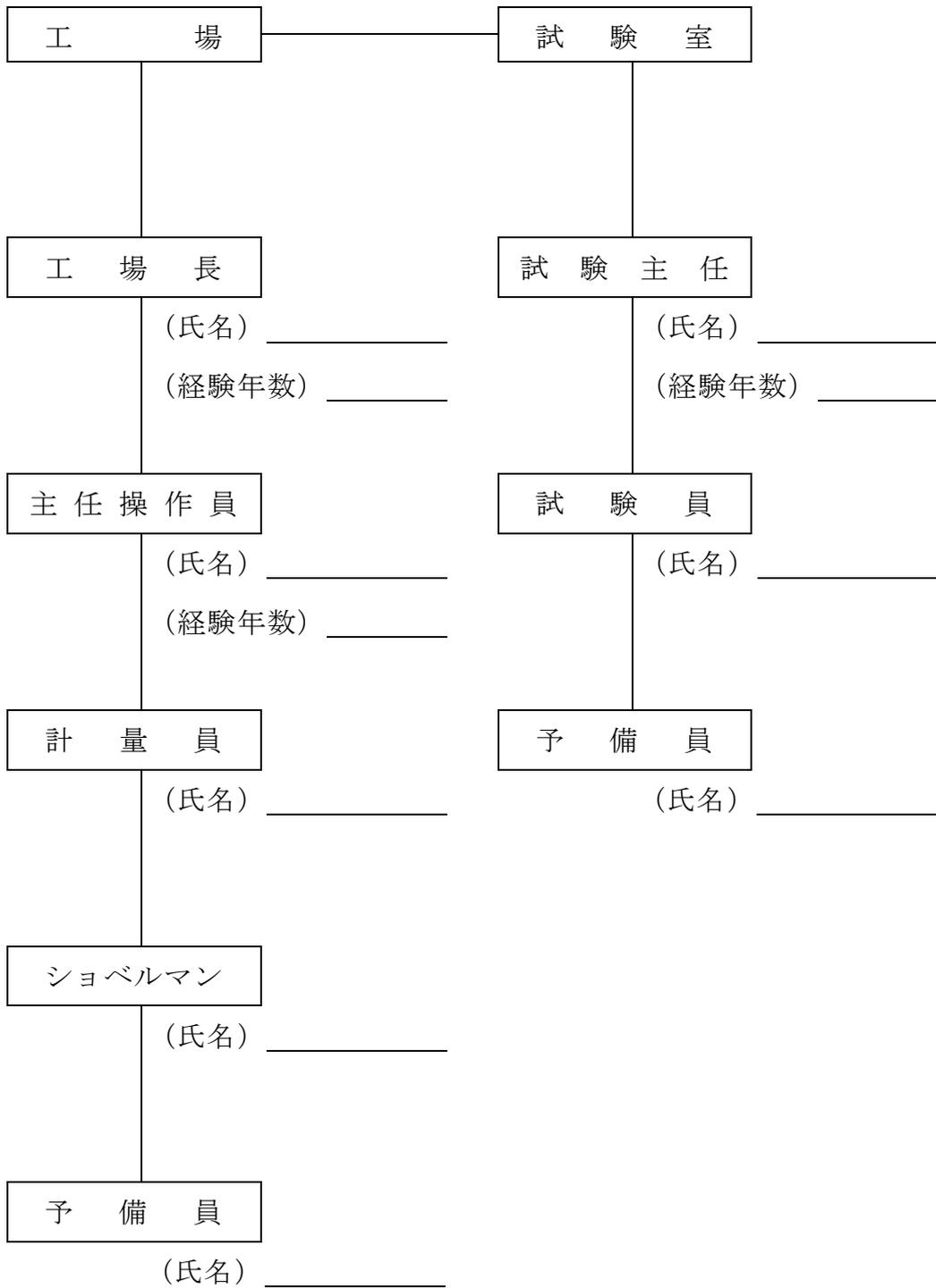
(2) 試験室の器具の配置図を提出のこと（S = 1 : 500以上）

(3) 試験器具名、試験項目、頻度は別紙記入のとおり

(4) 試験室（品質管理）に従事する人数 _____人

責任者 氏名 _____ 経験年数 _____

6 次の職種の氏名および経験年数を記入せよ。



(別 紙)

試験器具名、試験項目、頻度調べ

試 験 器 具 名	数 量	試 験 項 目	頻 度